

Cisco VIC カードと UCS B シリーズのチーミング、ボンディングのオプション

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[サポートマトリックス](#)

[関連情報](#)

概要

この資料は Cisco Unified Computing System (UCS) B シリーズ サーバの Cisco 仮想インターフェイス カード (VIC) アダプタを使用するときよくあるオペレーティング システムのために利用可能な団結およびボンディング オプションを記述したものです

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- Cisco UCS と UCS Manager (UCSM)
- Cisco VIC
- VMware ESX バージョン 4.1 以降
- Microsoft Windows Server バージョン 2008 R2
- Microsoft Windows サーバ バージョン 2012 および それ 以降
- Microsoft Windows サーバ バージョン 2016 および それ 以降
- Linux オペレーティング システム

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- UCSM バージョン 2.2(6c)
- VIC カードの Cisco UCS サーバ
- VIC ファームウェアのバージョン 4.0(8b)
- VMware ESXi バージョン 5.5、アップデート 3
- Microsoft Windows Server バージョン 2008 R2 SP1
- Microsoft Windows サーバ バージョン 2012 R2
- Microsoft Windows サーバ バージョン 2016
- RedHat 企業 Linux (RHEL) 6.6

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

サポートマトリックス

スイッチ依存しないであるすべての団結/ボンディング メソッドは UCS B シリーズ 環境でサポートされます。これらの結合 モードは switch/UCS 側の特別なコンフィギュレーションを必要としません。

スイッチ依存した結合 モードは port-channel がスイッチ側で設定されるように要求します。この場合スイッチであるファブリック相互接続はサーバで現在の VIC カードの port-channel を形成できません。それ故にそのような結合 モードにより UCS およびアップストリーム スイッチの MAC フラッシングを引き起こします。

このリストはネイティブ オペレーティング システムと仮想マシンとの hypervisor 環境に相当です。

オペレーティング システム	サポート	非サポート
VMware ESXi	<ol style="list-style-type: none"> 1. ポート ID の発生に基づくルート 2. 発信元MAC ハッシュに基づくルート 	<ol style="list-style-type: none"> 1. IP ハッシュに基づくルート 2. 物理的な NIC モードに基づくルート
Windows 2012 LBFO (ネイティブ団結ドライバを使用して)	<p>独立モードを切り替えて下さい (/アクティブ²⁾ アクティブ/スタンバイ な、アクティブロード バランシング メソッド</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 超V ポート 1. アクティブはバックアップします (1) モード 2. アクティブ (2) モードへのフェールバックのアクティブ バックアップ 3. アクティブでアクティブな送信する ロード バランシング (3) モード 	<p>依存を切り替えて</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 静的な団結 2. LACP
Windows 2008 R2 SP1 (Cisco VIC NIC 団結ドライバを使用して)	<ol style="list-style-type: none"> 1. アクティブ バックアップ (1) モード 2. バランス tlb (5) モード 3. バランス アルバ (6) モード 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 802.3ad LACP (4) モード 1. バランス rr モード 2. バランス xor モード 3. ブロードキャスト (3) モード 4. 802.3ad (4) モード
Linux オペレーティング システム ¹	<ol style="list-style-type: none"> 1. アクティブ バックアップ (1) モード 2. バランス tlb (5) モード 3. バランス アルバ (6) モード 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 802.3ad LACP (4) モード 1. バランス rr モード 2. バランス xor モード 3. ブロードキャスト (3) モード 4. 802.3ad (4) モード

1. [CSCva09592](#) を避けるのに回避策として fail_over_mac=1 を使用して下さい
2. ACI ファブリックの後ろで接続されたとき、ある特定のアクティブで/アクティブなアルゴリズムによりエンドポイントは 1 リーフ スイッチ別のものから移行しますかもしれませんが。リーフが余りにも多くのエンドポイント移動を検出するとき、エンドポイントのブリッジ メインのための学習をディセーブルにします (エラーメッセージと) 。

関連情報

- [Windows 2008 R2 SP1 VIC NIC 団結](#)
- [VMWare ロード バランシング アルゴリズム](#)
- [Windows 2012 R2 NIC 団結](#)
- [Linux 結合 モード](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント - Cisco Systems](#)